

平成 19 年度相談関係機関

NPO 等合同研修会での講演と活動報告

事務局長 末崎裕康

- ・「不登校・ひきこもりへの対応 短期/家族療法の視点から」というタイトルで、神奈川県青少年センター主催の「平成 19 年度相談関係機関・NPO 等合同研修会」（2007 年 8 月 3 日）で理事長と共にMCRの活動報告をしてきました。

神奈川県立青少年センター「事業案内」URL

http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/02/0230/jigyuu/support/h19/goudou_sem/index.html

- ・まず第一部で、若島理事長による「ひきこもりと家族療法」についての講演を行いました。MCRで基盤としている短期/家族療法の理論と特有の視点について、バツグンのユーモアを交えながらわかりやすく解説しました。フロアのみなさまは大盛り上がりです。しかも皆さん熱心にメモをとっておられました。



- ・そして第2部では、神奈川で不登校・ひきこもりに悩んでいる方々への支援をしている方たちとの意見交換を行ってきました。そこではMCRの活動報告と事例について、末崎が発表して参りました。



*写真右から「アンガージュマン・よこすか」事務局長 滝田衛さん、「フレンドリースペース金沢」代表 井深元旦子さん
MCR理事長 若島、同事務局長 末崎

- ・意見交換の中で一番感じたことは、私のつたない発表にフロアのみなさんがとても熱心に聴いてくださっていたことです。深い感銘とみなさんの熱い思いが伝わって参りました。発表後はMCRのカンファレンスのシステムや事例について、驚くほどの確なご質問やご意見をいただきました。
- ・そして、“ヨコ”のネットワークづくりに大変尽力されていることに驚きました。MCRが設立されて7年目になりますが、正直なところ、NPO同士の“ヨコ”のつながりが弱い現状です。特に療育的な観点から支援をされていらっしゃるみなさまと協力体制を築く第一歩となったと実感しております。
- ・前日にカードやパンフレットを大量に印刷したにもかかわらず当日忘れていった私ですが、MCRへの活動に共感していただくと共に、様々な視点からの刺激を受けることができ、大変勉強になった一日となりました。関係者の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

(特) MCR事務局長 末崎裕康